

おおか せいこ

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。  
フランスで培ったフローラルワーク  
を手がける。

<http://rencontrer.jp/>

# 花のある 空間

大高 令子



## 5月の フラワーボックス

今月の花材

ビバーナムスノーボール  
(小花が集めたライトグリーンの花)

スカビオーサ ・ ゼラニューム  
(ピンク色の丸い花) (ピンク色の5枚の花弁の花)

染めのカーネーション ・ アイビー  
(水色と茶色) (蔓性の葉)

花は、私たちの生活の様々なシーンで、活力や癒やしを与えてくれます。今月はその思いを、大切な人へ贈ることを考えてみます。

季節の花を箱いっぱいに詰めたフラワーボックスは、ふたを開けた瞬間の華やかさとサプライズ感で、相手に喜んでもらえるギフトとならずです。たとえば、お菓子などをいただいたお返しに、その箱に花を詰めて贈ったり、母の日にカーネー

ションを詰めて贈るなど、イメージはどんどん膨らみます。

今回のアレンジは、そのカーネーションも使った5月らしいフラワーボックスを目指します。

まず、ボックスにセロファンを敷き詰め、その上に、3センチほどにカットした吸水性スポンジを箱全体にセットします。今回は高さがおおよそ12センチのブリキ缶を使っているの、その4分の1の高さのスポンジ

が入っていることになります。

次に、カーネーションを低い位置でランダムに挿し、やや高い位置にビバーナムスノーボールを配します。さらに、それらの間にスカビオーサを挿し、ゼラニュームでアクセントをつくります。最後に、アイビーで隙間を埋めて完成です。

同じ種類の花を、箱の形に対して斜めに配置すると、自然な印象に仕上がります。